

# タヌキとキツネで勝負



市内店舗が来客の投票で人気を競う

館林



大会公式サイト

<http://www.t-cci.jp/ponkon/>



「ぜひ参加を」と話す実行委員会の鹿沼義一さん

館林市内で2月10日、3月15日、「新春ぼんちゃん・こんちゃんのみちおこし大相撲大会」が開かれる。期間中は市内の50店舗が二つのチームに分かれ、タヌキとキツネをテーマとした商品やメニューを提供。店ではなくチームへの投票で勝敗を競う。同大会実行委員会の鹿沼義一さんは、「投票するとプレゼントも当たるので、この機会にぜひ館林市に足を運んでほしい」と話す。

取り組みは、タヌキとキツネに関する伝説がそれぞれ残る、市の観光資源をPRしようと同委員会が企画した。茂林寺の「分福茶釜」に由来する「福分けタヌキ部屋」と、館林城築城の際に、キツネが城主・赤井照光を導いたとされる「狐の尾曳伝説」にちなんだ「夢叶うキツネ部屋」に出場店舗を分け、相撲に見立てて競う。

出場店舗は和菓子、文具、パン、スポーツ用品、ラーメン店など多彩。商品の一例を挙げると、「タヌキ部屋」では、横綱として館林うどん(本町)が「ぼんちゃんうどん」、自動車用品のコクピット館林(赤生田町)が市のマスコット「ぼんちゃん」のピンバッジを販売する。一方の「キツネ部屋」は、横綱の花山うどん(本町)が「黄金の大判きつねうどん」を、原宿自動車(楠町)がキツネをモチーフにした「こんちゃん」のピンバッジを提供する、という具合だ。

参加店舗に用意された用紙を使って、投票する。用紙は旅行券などが当たる抽選への応募券にもなっている。また、期間中に参加店舗で買い物をすると、茂林寺と尾曳稲荷神社で祈禱済みの木札やステッカーをプレゼントする(先着順)。参加店舗は公式サイト(上記)で確認を。同委員会(館林商工会議所内、0276・74・5121)